

*工学部化学システム工学科 技術専門員 坂井 淳一 教育学部生活科学課程 准教授 山口 智子



阿賀町雪椿プロジェクト

【キーワード】

再生可能地域資源

6次産業化

雪椿オイル

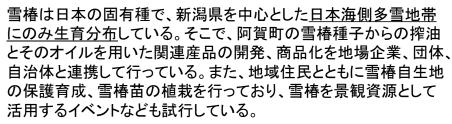
栄養機能性

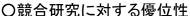
オレイン酸

■概要

- ・雪椿を地域固有特産資源として捉え、種子からの搾油により 「雪椿オイル」を商品化した。雪椿オイルはオリーブ油と同じ オレイン酸を主成分とすることから、雪椿オイルを利用して 「雪椿石けん」、「雪椿入浴剤」、加工食品として「雪椿うどん」 を商品化した。
- ・町内の雪椿自生地や植栽地の保護育成、挿し木苗の生産や 植栽を地域住民とともに行い、景観観光資源化も試みている。







- ・雪椿オイルの主成分であるオレイン酸は、その優れた保湿、保護効果から化粧品、コスメ商品の展開が可能である。
- ・オレイン酸はオリーブ油の主成分でもあることから、雪椿オイルを 栄養機能性を有する食用油としての利用や雪椿うどんのような 加工食品への展開が可能である。
- ○想定される実施例、応用例
 - ・雪椿オイルの希少性、イメージを強調した化粧品、コスメ商品。
 - ・雪椿オイルを利用した料理(雪椿御膳)や加工食品類の展開。
 - ・観賞用雪椿苗木(花卉作物)の生産や雪椿自生地、植栽地の 景観資源化、旅行商品化。
- ○今後の課題、展望
 - ・現在、雪椿種子の生産量はごく僅かであり(~数10L)、安定した 種子の収穫が課題である。そのため、既存の雪椿資源の保護と 耕作放棄地への植栽など資源育成に努める必要がある。

■応用を期待する分野

- 過疎高齢地の地域固有資源の再発見、再評価
- ・その地域資源を利用した商品開発(6次産業化)による地域活性化

本技術の問い合わせ先

新潟大学 地域創生推進機構

TEL: 025-262-7554 FAX: 025-262-7513 E-mail: onestop@adm.niigata-u.ac.jp





